

D | AM世界好配当株オープン (毎月決算コース)

<愛称：世界配当倶楽部>

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じ、実質的に世界各国の株式（日本を除く）へ投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年5月28日～2019年11月26日

第167期	決算日：2019年6月26日	
第168期	決算日：2019年7月26日	
第169期	決算日：2019年8月26日	
第170期	決算日：2019年9月26日	
第171期	決算日：2019年10月28日	
第172期	決算日：2019年11月26日	
第172期末 (2019年11月26日)	基準価額	7,975円
	純資産総額	13,313百万円
第167期～ 第172期	騰落率	6.4%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

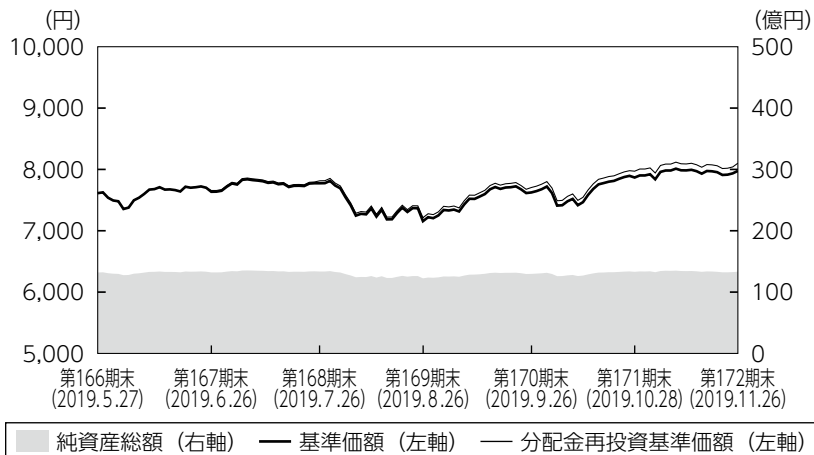
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第167期首：7,613円
 第172期末：7,975円
 (既払分配金120円)
 騰落率：6.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

外国株式市場は、2019年8月上旬にトランプ米大統領が対中追加関税第4弾の発動を表明したことから、米中貿易摩擦の懸念が高まり、調整色を強めました。しかし作成期末にかけては、米中通商協議再開による関係改善や米国主要企業を中心とする比較的良好な決算発表を背景に、株式市場は値を戻す相場展開となり、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期 (2019年5月28日 ～2019年11月26日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	46円	
(投信会社)	(22)	(0.282)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.282)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	47	0.612	

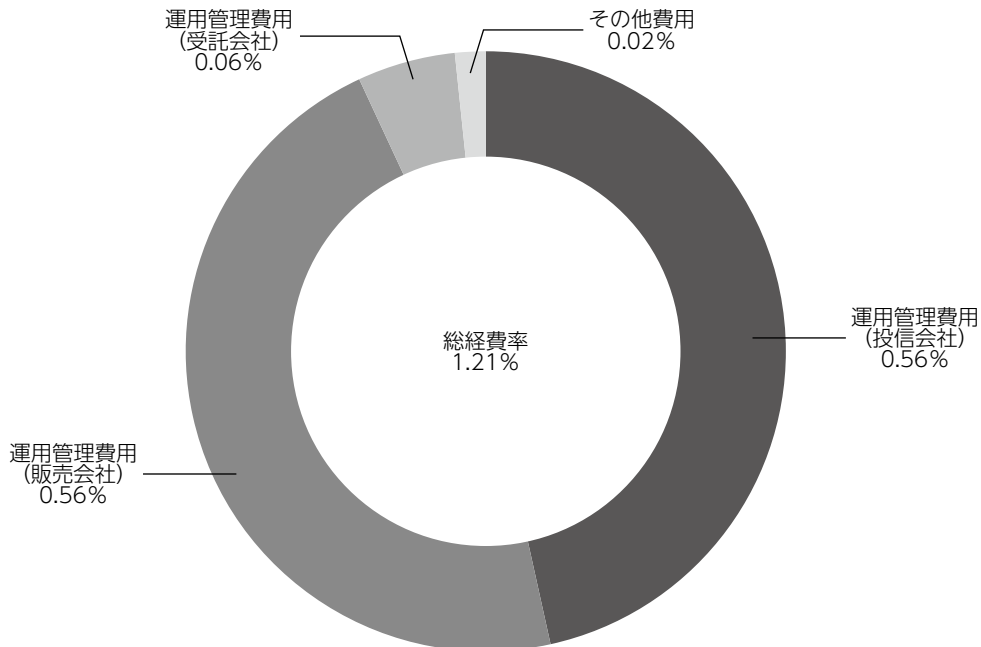
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）**◆総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.21%です。



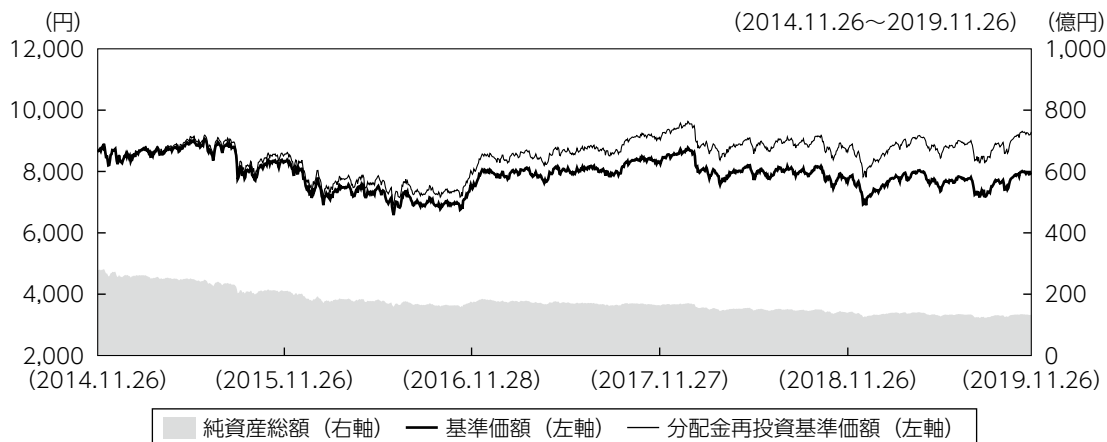
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年11月26日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年11月26日 期首	2015年11月26日 決算日	2016年11月28日 決算日	2017年11月27日 決算日	2018年11月26日 決算日	2019年11月26日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	8,646	8,304	7,496	8,313	7,651	7,975
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.2	△6.7	14.3	△5.2	7.6
純資産総額 (百万円)	27,826	20,988	17,446	16,425	13,896	13,313

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

外国株式市場は、2019年8月上旬にトランプ米大統領が対中追加関税第4弾の発動を表明したことから、米中貿易摩擦の懸念が高まり、調整色を強めました。しかし作成期末にかけては、米中通商協議再開による関係改善や米国主要企業を中心とする比較的良好な決算発表を背景に、株式市場は値を戻す相場展開となりました。

為替市場は、8月上旬にトランプ米大統領が対中追加関税第4弾の発動を表明したことを受けて、米中貿易摩擦の懸念が高まったことから主要通貨に対して円高が進みました。その後は、米中通商協議が再開となったこと等から円安が進行しました。ドル/円については作成期初と概ね同水準、ポンド/円については前作成期末比で円安、ユーロ/円については前作成期末比で円高となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I AM世界好配当株オープン・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用を行いました。

●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」という2つの観点に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、欧州のウェイトを引き下げ、米国のウェイトを引き上げました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、生活必需品や金融セクターへの投資比率を引き上げた一方で、公益セクターへの投資比率を引き下げました。

○組入上位10業種

No.	業種	組入比率
1	公益事業	14.6%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	14.3
3	銀行	11.0
4	資本財	8.3
5	エネルギー	7.2
6	食品・飲料・タバコ	6.3
7	家庭用品・パーソナル用品	5.6
8	保険	5.0
9	消費者サービス	4.6
10	電気通信サービス	4.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

(注2) 業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2019年5月28日 ~2019年6月26日	2019年6月27日 ~2019年7月26日	2019年7月27日 ~2019年8月26日	2019年8月27日 ~2019年9月26日	2019年9月27日 ~2019年10月28日	2019年10月29日 ~2019年11月26日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.26%	0.26%	0.28%	0.26%	0.25%	0.25%
当期の収益	20円	17円	20円	15円	12円	18円
当期の収益以外	-円	2円	-円	4円	7円	1円
翌期繰越分配対象額	538円	536円	542円	538円	531円	529円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I AM世界好配当株オープン・マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

今後の外国株式市場は、目先は米国をはじめとする主要各国の政治・金融政策動向に左右されやすい、値動きの荒い相場環境を予想します。中長期的には、米国を中心とする主要国の底堅い景気動向や企業業績見通しを背景に、株式市場にとって良好な環境になると考えます。運用方針としては、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行います。

お知らせ

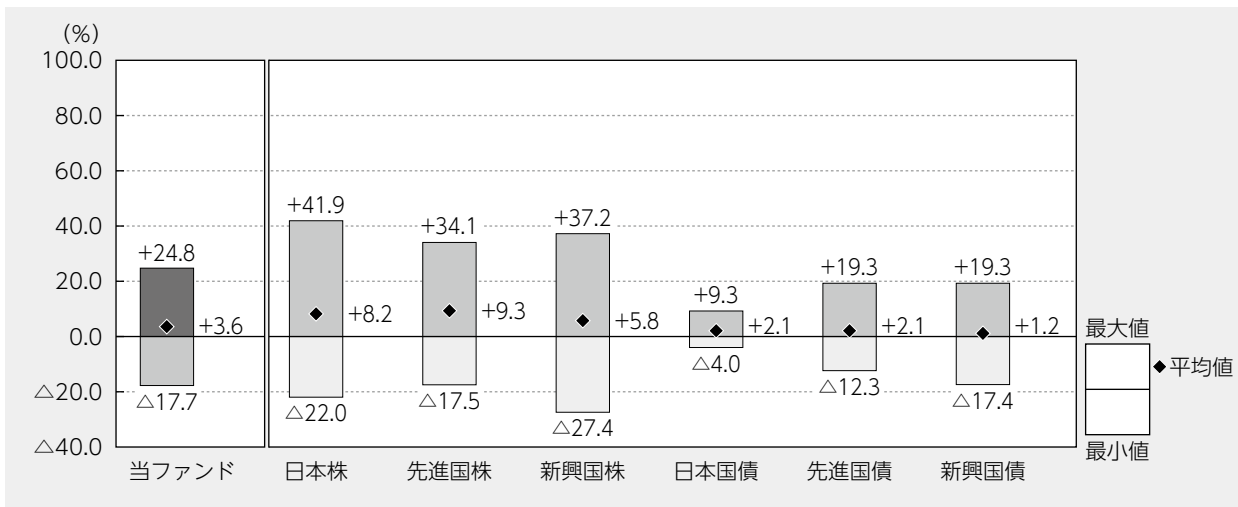
■当ファンドが投資対象とする「D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド」において、欧州地域の株式の銘柄選定に関する投資助言元をAsset Management One International Ltd.からAsset Management One USA Inc.に変更したため、約款に所要の変更を行いました。

(2019年6月26日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2005年6月1日から無期限です。	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I A M世界好配当株オープン（毎月決算コース）	D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンドにおける組入銘柄の選定に当たっては、配当利回りの高い銘柄および増配の期待できる銘柄を選定し、安定的な配当収入およびキャピタルゲインを享受することをめざします。 実質外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。	
分配方針	決算日（原則として毎月26日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）の中から、原則として配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。 また、毎年3月、6月、9月および12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。分配金額につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案し委託会社の判断により決定します。但し、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年11月～2019年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年11月26日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：1ファンド）

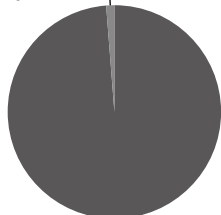
	第172期末
	2019年11月26日
D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド	98.8%
その他	1.2

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

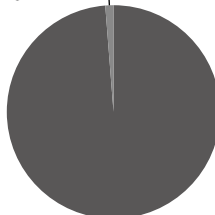
その他
1.2%



親投資信託受益証券
98.8%

◆国別配分

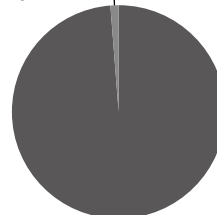
その他
1.2%



日本
98.8%

◆通貨別配分

その他
1.2%



日本・円
98.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末
	2019年6月26日	2019年7月26日	2019年8月26日	2019年9月26日	2019年10月28日	2019年11月26日
純資産総額	13,208,116,246円	13,355,769,221円	12,243,685,972円	12,965,331,787円	13,308,076,024円	13,313,570,790円
受益権総口数	17,297,228,681口	17,180,545,974口	17,110,468,922口	17,005,380,809口	16,915,456,275口	16,694,049,168口
1万口当たり基準価額	7,636円	7,774円	7,156円	7,624円	7,867円	7,975円

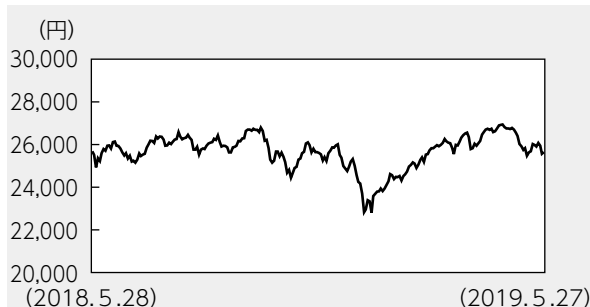
(注) 当作成期間（第167期～第172期）中における追加設定元本額は205,269,044円、同解約元本額は848,121,302円です。

組入ファンドの概要

[D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2018年5月29日～2019年5月27日)

◆基準価額の推移



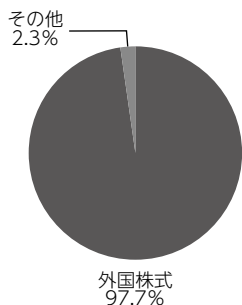
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ・ドル	2.7%
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.6
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	2.4
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス・フラン	2.1
PACCAR INC	アメリカ・ドル	2.1
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	2.1
TOTAL SA	ユーロ	1.9
BB&T CORP	アメリカ・ドル	1.7
SIX FLAGS ENTERTAINMENT CORP	アメリカ・ドル	1.7
RVWE AG	ユーロ	1.7
組入銘柄数	93銘柄	

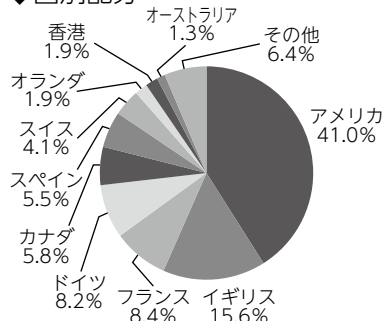
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.050% (0.050)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.037 (0.037)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (0)	0.018 (0.017) (0.001)
合計	27	0.105

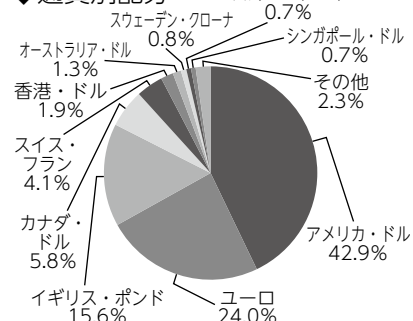
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(25,666円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。